

2022～2023 年次活動計画

会長 竹島直樹
副会長 堰野端展雄
幹事 大竹正貴

2022～2023 年度クラブ活動方針



十和田東ロータリークラブ
第58代会長 竹島直樹

2022～2023 年度十和田東ロータリークラブテーマ 未来を描く！

国際ロータリー初の女性会長に就任したジョーンズ RI 会長は「IMAGINE ROTARY」をテーマに掲げ、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすように呼びかけています。以下ジョーンズ会長のスピーチからの抜粋です。「想像して下さい、私達がベストを尽くせる世界を。私達は毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたせられると知っています。また、私達には皆夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうか決めるのは私達です」と語っています。この言葉を受け、今年度の十和田東ロータリークラブテーマを「未来を描く！」にしました。

今年度の地区スローガンは「ロータリアンの想いを繋ぐ」です。田中常浩ガバナーは、中核的価値観である、職業・社会奉仕を中心に親睦、高潔性、多様性、リーダーシップを大切にしながら、ロータリーのイメージ向上のためには、変わらなければならない所は受

け入れ、変わらない本質を学びながら、生涯にわたる友人と楽しみながら行動し、地域や各クラブにインパクトを与えられる活動を会員一緒にやりましょうと呼びかけています。

新型コロナウイルスやウクライナ戦争に伴う食糧価格の急騰により1日1.9ドル(240円)未満での生活を強いられる人が、年内に2億5千万人増える可能性があるとする報告書を国際NGOのオックスファム・インターナショナルがまとめました。これに加えて世界銀行は今年に入り、2億人の極度の貧困を予想していた。合計すると3億5千万人に達し、これは英国、ドイツ、フランス、スペインを合わせた人口に匹敵する。新型コロナウイルスのようなものに、これだけ世界中の国が、これだけの規模で、これだけの期間にわたり、困難に見舞われるということは私の生きている中でかつてなかったことです。さらに戦争、円安、物価高騰というトリプルパンチで、まだまだ困難が続くような予感です。このような時だからこそ、ロータリーの目的である奉仕の理念で、支援の輪を広げ明るい未来を描いていきましょう。私は、まだロータリー歴も浅く皆様にご迷惑をかけることが多々あるかもしれませんが、会員皆様のご協力をお願いいたします。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、
高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、
相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、
特別なニーズを抱える人びとを助け、
地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの
評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を
維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメン
トを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

(5は、2019年1月R I理事会会合、決定119号)